

地域の活動

シリーズ⑪

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域の皆さんとともに“ふくしのまちづくり”を進めています。地域の活動シリーズでは、社協の事業とともに地域で行われているさまざまな活動をご紹介します。

“ふくしのまちづくり”が、

ふだんのくらしのしあわせにつながりますように。

ふくしのまち

社協だより

No.142

R2.11.1

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

地域に貢献する企業・事業所

企業・事業所も
地域のために

ウエルシア薬局株式会社 ウエルシア新宿店 ウエルカフェ



モットーはお客様の満足と従業員の満足とを一致させることで、利益を地域に還元し、地域の暮らしを支えています。全国305店舗に広さ25-50㎡のウエルカフェを併設しており、鶴ヶ島新宿店のウエルカフェでは多くのお客様が囲碁・将棋や健康お手玉体操などの集いの場として利用させていただいています。

鶴ヶ島自動車教習所 ハートフルマーケット



平成17年から現在まで16年間、教習所の敷地を開放して、フリーマーケットを行っています。リサイクルの意識づくりと地域の方々が集えるイベントが定着しています。その収益も社会福祉協議会に寄付していただいています。
*今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となっています。

埼玉りそな銀行鶴ヶ島支店有志 災害ボランティア



昨年の台風19号の被災地に、有志を集めて、2日間活動を行いました。少しでも、被災した方のお役に立ちたいと考えたそうです。「ほとんどの人がはじめての経験でした。チームでボランティアができて、とても有意義でした。」と支店長の町田さん。

社会福祉協議会の
ホームページ・フェイスブックをご覧ください。

鶴ヶ島 社協 で 検索

携帯・スマートフォン等からQRコードを読み取り、見ることができます。



ホームページ Facebook

社協だよりは、目の不自由な障がい者の方々に、点字版・デージー版を発行しております。ご希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。
(協力:鶴ヶ島市点字サークル「アイ」、鶴ヶ島音訳ボランティアサークル「せせらぎ」、デージー鶴ヶ島)

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています。

共同募金運動がはじまりました！

みなさまのご協力をお願いします

10月1日から3月31日までの6か月間にわたり、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が行われています。鶴ヶ島市内でも「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から行われ、12月1日からは「地域歳末たすけあい運動」も始まります。

コロナ禍の中で、より一層支援が必要な方々が増えています。みなさまの温かいお気持ちが地域に届けられるよう、今年度もご理解とご協力をお願いいたします。



愛ちゃんと希望くん
©中央共同募金会

自分の町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金の仕組み



①助成の計画を立てる

埼玉県共同募金会に寄せられた助成要望をもとに、市町村ごとに目標額が定められます。

今年の目標額（埼玉県）10億2,087万5,000円（鶴ヶ島市）812万9,000円



②募金をする

募金をする人、集める人。たくさんの人のやさしさが、共同募金を支えています。お預かりした募金は、埼玉県共同募金会で一度まとめられます。

募金運動の様子



鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会



鶴ヶ島市赤十字奉仕団



鶴ヶ島市社会福祉協議会役職員・平成会

■街頭募金協力団体・店舗（令和2年10月3日現在）（順不同、敬称略）

東武東上線鶴ヶ島駅、東武東上線若葉駅、東武東上線坂戸駅、ワカバウォーク、ベイシア鶴ヶ島店、カインズ鶴ヶ島店、ベルクすねおり店、ベルク鶴ヶ丘店、ヤオコー鶴ヶ島店



③地域に配分される

埼玉県共同募金会に寄せられた募金は、下記のとおり配分されます。

- 地域配分 市町村社会福祉協議会等、身近な福祉への活用
- 広域配分 埼玉県内の社会福祉施設・団体等、県全体の福祉の向上に活用



④身近な地域が笑顔であふれる

社会福祉協議会へ配分された募金は、次の事業に活用しています。（地域配分）

赤い羽根募金・地域歳末たすけあい募金の使いみち（令和元年度）

福祉教育・体験学習推進校等指定事業（500,000円）
ふれあい・いきいきサロン推進事業（500,000円）
歳末援護事業（800,000円）
小地域活動推進助成事業（750,000円）
困窮者支援事業（60,000円）
ボランティア・市民活動団体支援事業（470,000円）

地域福祉推進研修会（30,000円）
金婚祝賀式並びに感謝状贈呈式（190,000円）
地域福祉推進研修会（30,000円）
ホームページ運営事業（40,000円）
社協だより発行事業（500,000円）



赤い羽根 〇 支え合い・助け合いの輪

共同募金運動は多くの市民の皆さま、団体、企業等の協力のもと進められています。
今回は、共同募金運動の目的に賛同し社会貢献活動にご協力いただいている学校を紹介し
ます。

鶴ヶ島中学校

福祉教育の一環で、共同募金の目的や仕組みを
学習し、実際に街頭募金で使う資材を製作してく
れました。

また、呼びかけ用に録音してくれた音声を、10
月1日と10月3日の街頭募金で使わせてもらいま
した。呼びかけの音声録音時は、少し恥ずかしそ
うな生徒たちでしたが、ポスターや募金箱を製作
している顔はとても真剣でした！

できあがったポスター



写真①、②、③ ポスター、募金箱製作風景
写真④ 10月3日の街頭募金でポスターを使わせてい
だきました♪

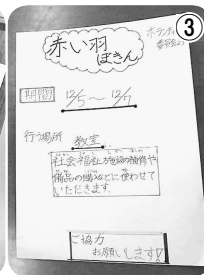
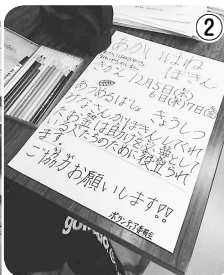
藤 小 学 校

藤小学校では、毎年委員会活動で共同募金運動の事前学習をしてから
募金活動を行っています。今年も、社協職員から募金活動の歴史やし
くみを学んだ後、ポスターを作成しました。クイズ形式で、集まった募金
の使いみちや、昔のポスターのデザイン、赤い羽根の意味などを知り、
興味をもった子供たちからたくさんの質問がありました。

社協職員の説明を
真剣に聞いています！

写真① ボランティア委員会
事前学習の様子

写真②、③ 募金活動で使う
手作りポスター



*上記画像のポスターは2年前の作品です

■募金運動にご協力いただける個人・団体・企業を募集しています！

募金活動の実施場所の提供や募金箱の設置など、さまざまな協力の形があります。
また、共同募金について説明に伺うこともできます。社会福祉協議会までご相談ください。

災 害 義 援 金

埼玉県共同募金会を通じて、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しております。
詳しくは、[鶴ヶ島市 社会福祉協議会](#) で [検索](#)
被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

5年後、そして10年後のこれからの鶴ヶ島の福祉のカタチを考えましょう！

第3次地域福祉活動計画

の策定がはじまります

社会福祉協議会では、鶴ヶ島市と共に、第3次地域福祉計画（行政）および地域福祉活動計画（社協）を策定します。つきましては、市民意識調査等を実施しますので、調査票が届いた方はご協力をお願いします。



9月11日に行われた委員会での勉強会の様子

【地域のニーズ調査等】（予定）

市民意識調査 令和2年10月～11月
子ども意識調査 令和2年11月～12月
地域懇談会 令和3年3月

第3次地域福祉計画と一体化した地域福祉活動計画の策定

令和4～8年度の
5年計画

令和7年には、団塊の世代が75歳（2025年問題）を、令和22年には団塊ジュニアが65歳（2040年問題）を迎えます。超高齢社会に向けて考えていきましょう

支え合う地域づくり・就労支援

働きたくても働けない、住む所がないなどの方々の相談を受け、自立のための支援の一環として、就労支援事業が行われています。障がいのある方や困窮世帯等、この事業の趣旨を理解して、受入れを積極的に行っている鶴ヶ島市内の事業所を紹介します。



介護付有料老人ホーム
ふるさとホーム
エリアマネージャー
上野 伸治さん

4～5年前から受け入れています。福祉人材が不足している中、とても助かっています。就労していただいた方々には、施設内の清掃や介護等行ってもらっています。困窮状態や障がいのある方を受け入れることにより、職場内の雰囲気もかわってきました。職員にも障害者に関する理解が深まってほしいと思っています。



特別養護老人ホーム
清光苑
施設長
清水 展さん

介護施設の掃除、包布交換、宿直でそれぞれ一人ずつ働いてもらっています。当初は考えていなかったのですが、就労支援員の方からお話をいただき、業務を切り分けてお願いします。募集してもなかなか職員が見つからない中、これまでいた職員も大変助かっています。

クリエイト電子株式会社 代表取締役社長 山田陽介さん

2年ほど前から、障がいのある方や困窮状態にある方を就労支援と連携して、6名ほど受け入れています。はじめは、作業手順が覚えられない、基本的な働く姿勢がなっていない等苦勞しました。丁寧におしえて、技術を身に付けてもらうことにより、現在では、わが社にとっては、極めて重要なポジションになっています。真面目で、休むことなく頑張ってください。

今後とも、自分たちのペースを守りながら働いていただきたいと思います。



「お^{ウチ}でボランティア（社会貢献）^{カツ}活動！」 コロナに^{打ち勝つ}、おうち活動！」

例年は彩の国ボランティア体験プログラムとして、高齢者施設での介護体験や障がい者とのかわり、子どもの保育などさまざまな体験プログラムがありますが、今年度は受付やオリエンテーションをオンライン上で行い、コロナ禍でも、感染症対策に十分配慮したうえで「お家でできる社会貢献活動」を中心に、企画した「ウチカツのすすめ！」を実施しました！

おうちの防災をチェックリストで探したり、おうちでうさぎの人形やエコバック、輪飾り、牛乳パックの足置き台を作るなど、12のプログラムを実施し、139人が参加しました！

ボランティア・社会貢献活動のはじめの1歩を、
たくさんの方が踏み出しました！

参加者の感想 (一部抜粋)

1 輪飾りの作成をした方

コロナで制限のあるなかで、何かの役に立てることはとても嬉しいです。高齢者施設の方が少しでも喜んで笑ってもらえることを願っています。(鶴中1年 Sさん)

2 足置き台の作成をした方

高齢者施設で使う足置き台ということで、慎重に、ていねいに作ることを意識しました。小学生の妹にも作り、使っています。祖母のためにも作ってみようと思います。(南中1年 Aさん)

3 市民の森整備活動に参加した方

普段なら体験できないような良い体験になりました。森の整備の大切さを学ぶことができ、とても良い夏休みになりました。(川越西高3年 Tさん)



集まったウチカツの制作物たち



うさぎの人形で遊んでいます



高齢者施設のおまつりで輪飾りが飾られています



市民の森での環境保全活動

制作物の寄付を受けた施設からのコメント

コロナ禍のため、全体のお祭りができずに少し寂しく思っておりましたが、皆さんからの飾り物や足置きで、温かい気持ちに大きな力をいただきました。ありがとうございます。

ボランティア・市民活動をやってみたい、疑問・質問などありましたら、ボランティア・まちづくりセンターへ

コロナ禍だから 始まった!?

オンラインでの活動を紹介!



笹久保さくら保育園×聖学院大学 オンライン交流会

聖学院大学のボランティアセンターとのコラボレーション企画として実施。保育系学科の学生によるオンラインツールを活用した、レクリエーションや動く絵本での笹久保さくら保育園の年長さんとの交流を実施しました！



特別養護老人ホームみどりの風鶴ヶ島 ×藤中学校 オンライン吹奏楽演奏会



リハーサルの様子

藤中学校の吹奏楽部による演奏を、オンラインツールで聴く演奏会が行われました！

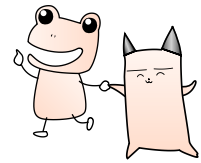
音楽のイントロクイズなど、デイサービスの方との交流が生まれました。

地域密着型 サービス事業所合同 のど自慢大会

市内にある7つの高齢者施設から、オンライン参加によるのど自慢大会を実施しました！ 感染症対策もばっちり、のど自慢大会でした！



鶴ヶ島市生活サポートセンターでは、鶴ヶ島市から受託し、障がいのある方や生活困窮状態にある方の相談支援や地域づくりを実施しています。



第7回 ひきこもり状態にある方々の現状と支援について

内閣府の調査（2016年、2018年）では、ひきこもり状態にある方々が全国で約115万人いると推計され、高齢化や長期化なども重なり、改めて実態と課題が浮き彫りになってきています。

これは決して特別な状態ではなく、誰にでも起こりうるものであり、より身近な課題と認識されつつあります。そのような実情に鑑みて、近年、国や地方自治体、社会福祉協議会などにおいて、支援体制の整備や様々な取り組みがすすめられています。

当センターでは、これまでも生活困窮者支援や障がい者相談支援、権利擁護支援の中で、ひきこもり状態にある方々への支援を実施していました。また、鶴ヶ島市をはじめ、各関係団体でもひきこもり状態の方々への支援がすすめられています。

このような実態や鶴ヶ島市の動きも踏まえ、これまでの支援をベースに、さらに、ひきこもり支援を充実していけるよう、関係機関との連携強化や訪問支援、その他支援者の学びや地域づくりなど、様々な角度からの取り組みを検討していく予定です。



また、この取り組みが、ひきこもり状態にある方々やご家族の支援のみならず、ひいては地域の方々が安心して暮らせる街づくりにつながるよう努めてまいりたいと思います。

※ひきこもり状態：「様々な要因の結果として、社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）を示す現象概念。『ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン』厚労省HPより抜粋

もったいない☆プロジェクト

センターでは、生活にお困りの方への支援として、物品や食料支援として、もったいないプロジェクトを実施しています。ご家庭で使用していない生活家電や保存のきく食品を寄付して頂き、生活にお困りの方にお渡ししています。

今回は新型コロナウイルスの影響等により、生活に困窮されている世帯が増加しています。食料支援が増加したことに伴い、在庫の食品が減少しているのが現状です。

このため、「もったいない☆プロジェクト」の食料支援の活動に皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



パックご飯、レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、災害用食品、調味料（塩・醤油・味噌・めんつゆ）等

※生鮮食品などの日持ちがしないものや要冷蔵の食品は受け付けておりません。



金婚式を迎えるご夫婦をお祝いします

お知らせ
コーナー

結婚50年（金婚式）を迎えるご夫婦を、お祝いたします。対象となるご夫婦は、婚姻日のわかるもの（戸籍謄本等）をご持参のうえ、社会福祉協議会へお申込みください。

※式典の開催については、今年度見送らせていただきます。

対 象 婚姻年月日が昭和45年4月1日から昭和46年3月31日までのご夫婦 または、過去にお祝いを受けていないご夫婦

申込方法 婚姻日のわかるもの（戸籍謄本等）をご持参ください。

受付期間 令和3年1月8日（金）まで

申込み・問合せ

社会福祉協議会（市役所6階）
（電話049-271-6011）



鶴ヶ島市立図書館

第5回障がい者アート絵画展 開催案内・作品募集

障がいを持つ方のオリジナリティ溢れる絵画を展示します。また、展示される作品を募集します。

日 時 【開催期間】 令和2年12月9日（水）～12月20日（日）
【時 間】 午前9時～午後7時（最終日は午後4時まで）
【募集期間】 9月1日（火）～12月4日（金）まで
【申込書配布期間】 9月1日（火）～11月15日（日）
（中央図書館・各分室・若葉駅前カウンターで配布）

場 所 【展示会場】 鶴ヶ島市立中央図書館2階展示室

対 象 【出展者】 鶴ヶ島市民・近隣市町村民の障がい者

申 込 作品出展申込書に必要事項を記入のうえ、作品は中央図書館に直接ご持参ください

参加費 無料

問合せ 中央図書館 サナガシ コサキ
電話 049-271-3001



わかば大学塾

わかば大学塾塾生追加募集

わかば大学塾は、市民が講師となって講座を企画・運営する生涯学習事業です。市民の「教えたい」と「学びたい」をつないでいます。

内 容 定員に余裕のある講座の塾生を募集しています。

希望する方は、事務局までご連絡ください。

問合せ わかば大学塾事務局 049-298-7484

（平日午前10時～正午、午後1時～午後3時）

※インターネット上で講座案内パンフレットと講座PR冊子が閲覧可能です。詳しくは下記QRコードから。



講座案内



講座PR冊子

わかば大学塾
キャラクター
まなぶくん



鶴ヶ島市立図書館

バリアフリー映画会 上映案内

日 時 令和2年12月13日（日）午後2時00分～

場 所 鶴ヶ島市立中央図書館2階視聴覚室

作 品 描きたい、が止まらない

内 容 伝統や流行、教育などに左右されず自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術「アール・ブリュット」で高く評価されている自閉症を抱える画家・古久保憲満さんを2年半追いかけたドキュメンタリー映画

申 込 当日、整理券を配布

問合せ 中央図書館 サナガシ コサキ
電話049-271-3001

※バス停から会場まで誘導が必要な場合は事前にご連絡ください。

社会福祉協議会

手話通訳事業 年末年始のお知らせ

令和2年12月29日（火）から令和3年1月3日（日）までの6日間、受付業務はお休みとなります。この期間中に手話通訳を利用したい方は、12月18日（金）までにお申し込みください。

年末年始の手話通訳の依頼について、何かご不明な点等ありましたら、担当までご連絡ください。

問合せ 8ページ窓口一覧

社会福祉協議会 手話通訳事業担当まで

あたたかい善意、ありがとうございました。

（社会福祉協議会への寄附）

社会福祉法人に対する寄附金は、税額控除の対象となっています。

お寄せいただきました善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。（順不同、敬称略）

岸田成司 100,000円

五味ヶ谷 瀧島 50,000円

白ゆりカラオケ同好会 14,967円

大川賢司 3,200円

横山明美 プリザーブドフラワー 30個

その他、匿名にて10名の方と8団体から寄附金を、2名の方から物品の寄付をお寄せいただきました。

（令和2年6月1日～令和2年9月30日）

歳末援護事業のお知らせ

地域歳末たすけあい
運動テーマ

「地域から
孤立をなくす」

お知らせ
コーナー

この事業は、地域歳末たすけあい運動で寄せられた募金から
支援を必要とする方(世帯)に、明るいお正月を迎えられるよう支援する事業で
す。地域の民生委員のご協力のもと、歳末訪問活動も兼ねて実施しております。
申請がない場合には、援護品をお渡しできませんのでご注意ください。

対象者

(生活保護世帯、中国
残留邦人等生活支援
事業対象者は対象外)

(1) ^{ていしょとく}低所得(^{じゅうみんぜいひかぜい}住民税非課税)の ^{せたい}世帯のうち、 ^{しな}市内に ^{じゅうしょ}住所があり、 ^{つぎ}次のい
^{かいたう}ずれかに ^{かた}該当する方と ^{どうきよ}同居している ^{せたい}世帯(一人暮らしの方も含む)

- ①75歳以上の方
- ②身体障害者手帳1級もしくは2級を所持する方
- ③療育手帳(みどりの手帳)④もしくはAを所持する方
- ④精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方
- ⑤就学援助事業に認定された児童・生徒(準要保護世帯)

(2) ^{じどうふようてあて}児童扶養手当の ^{ぜんぶしきゅうせたい}全部支給世帯 ※一部支給世帯は対象外です

内容

お米券

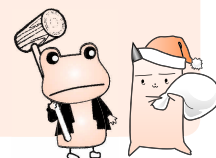
世帯構成員3人までは2,600円相当、4人以上は5,200円相当
※募金額や申請数により、金額の変更があります

申請方法

申請書に必要事項を記入し、対象であることが分かる書類(認定通知や
手帳の写し等)を添えて、社会福祉協議会や各市民センター、老人福祉
センター、若葉駅前出張所のいずれかに提出してください。

なお、(2)の対象者は、添付書類は不要です。

^{しんせいしよ}申請書は、^{しな}市内各 ^{しな}公共施設、^{しゃかいふくしきょうきかい}社会福祉協議会にあります。
また、ご自身での申請が難しい場合は、ご相談ください。



申請期限

令和2年11月24日(火) (必着)

なお、対象者への援護品は、12月中旬から12月末までに民生委員がお届けします。

問合せ先 鶴ヶ島市社会福祉協議会 〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1 (市庁舎6階)
電話 049-271-6011 FAX 049-287-0557

年末年始における 生活困窮者に対する 緊急的な相談支援について

新型コロナウイルス感染症等の影響により、
年末年始に向けて生活困窮状態にある方への
緊急的な相談支援を行います。相談内容によ
り、解決方法を一緒に考えていきます。まず
は、ご相談ください。

期 間 令和2年12月1日～令和3年1月29日
問合せ 窓口一覧
生活サポートセンターまで

窓 口 一 覧

■ 鶴ヶ島市社会福祉協議会 事務局
〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1 (市庁舎6階)
(月～金曜日 午前9時～午後5時15分)
電話 049-271-6011(代表) FAX 049-287-0557

● 手話通訳事業担当

FAX 049-271-6277 電話 049-271-6278

● 権利擁護支援センター

電話 049-277-3317

● 障害者相談支援事業所

● 鶴ヶ島市生活サポートセンター

電話 049-277-4116 FAX 049-277-4117

■ 鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」

(月～金曜日 午前9時～午後5時15分)

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木935-1

電話 049-287-7456 FAX 049-298-3241

